

## 富士山の世界文化遺産登録を目指して

### 普遍的な価値をもつ富士山

富士山は、その雄大で秀麗な姿が、古来より庶民の信仰の対象として、また、文学や絵画など数多くの作品に描かれるなど芸術活動の対象として、人々と深く関わってきた日本を代表する名山です。

また、国民の心のよりどころであるとともに、その美しい姿を見ようと国内はもとより世界各地から年間を通じて多くの人々が訪れるなど、人々に愛され親しまれてきました。

このような、富士山の豊かな自然と信仰や芸術との強いつながりは、文化的景観として、極めて顕著で普遍的な価値を有していると考えられます。

### 世界遺産として後世に引き継ごう

このすばらしい富士山を人類共通の財産として次世代へ引き継いでいくことは私たちの使命です。そこで、静岡県や関係市町村などと連携し、世界文化遺産に登録するための取り組みを進めています。

世界文化遺産登録は、富士山の美しい自然環境や文化財の保護につながるほか、地域の歴史や文化に誇りを持つという観点からも大きな意義があります。

世界の文化遺産として富士山を登録するための取り組みを積極的に盛り上げていきたいと思います。



毎年6月30日に北口本宮富士浅間神社で行われる富士山開山祭



富士山に魅せられた画家・桜井孝美さん



ご来光を迎える登山者たち(写真提供:山梨日日新聞社)



動植物などの違法採取の監視・是正指導や、来訪者らに対する環境マナーの啓発・自然解説などを行う富士山レンジャー

## 日本の宝 美しい富士山 を後世へ



環境保全のため整備された山小屋トイレ(左側の建物)

県では、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを明記した「富士山憲章」を平成10年に静岡県とともに制定し、山小屋トイレの整備や、富士山レンジャーの創設、エコツーリズムの推進などさまざまな取り組みを行っています。

### ■世界遺産

～国境と世代を越えた共通の宝物～

世界中のあらゆる地域には、国や民族が誇る文化財や自然環境があります。世界遺産とは、現代を生きる世界のすべての人びとが共有し、未来の世代に引き継いでいくべき人類共通の宝物のことです。世界遺産は、「文化遺産」「自然遺産」「複合遺産」に分類され、日本では、姫路城や原爆ドームなど10件が文化遺産として、また白神山や知床、屋久島の3件が自然遺産として登録されています。

### ■文化的景観とは

富士山の文化的価値を表す言葉である「文化的景観」という表現は、これまで世界文化遺産登録の対象であった宮殿やピラミッド、万里の長城などの建造物にみられる壮麗な人工物だけでなく、自然と人間との交流の中で生まれたものにも多様な文化遺産があるのではないかとの考えから導入されました。

- ① 庭園や公園など人間の設計に基づき作り出された人工的な景観
  - ② 有機的に進化する景観(棚田、集落、炭坑跡など)
  - ③ 芸術や信仰など人間の精神的活動の母体となる景観
- が含まれています。

※なお、富士山は③に該当すると考えられています。